

2023年度 東海大学付属甲府高等学校 学校評価(自己評価)

評価(4…十分達成している 3…概ね達成している 2…どちらかという達成していない 1…ほとんど達成していない)

A…概ね良好である(3.0以上) B…工夫・改善の余地がある(2.5～2.9) C…工夫・改善の必要がある(2.1～2.4) D…根本的に工夫・改善を図る必要がある(2.0以下)

領域	重点目標	自己評価結果(成果と課題)	評価	次年度への改善策
学校運営	「伸ばせ人間力!!」をスローガンに、人間力を高める指導を実践し、社会で活躍できる人材育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・コース制を導入して3年が経過し、コースの特性に合わせた取り組みができた。 ・ユネスコスクール加盟に向けて、「"届けよう、服のチカラ"プロジェクト」に参加し、地域の方々にも多くの協力をいただいた。また、気象予報士の依田司さんをお招きし「気候変動」の講演から幅広い視野と見聞を広げることができた。今後も加盟に向けて活動を続けていく。 ・今年度も多くの部活動で全国大会・関東大会に出場することができた。 	A (3.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や中学生へコース制導入した学校改革がだいぶ浸透してきているが、まだまだ知られていない部分も多く、周知できるように学校説明会等を通して本校の魅力を理解していただきたい。 ・文武両道の実現に向けて、学習室をリニューアルするなど自学自習が積極的にできる学習環境を整えていく。 ・ユネスコスクール加盟に向けて、SDGs教育や探究活動を推進して取り組む。
学習指導	主体的に学習に取り組む態度を育成し、確かな学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末に伴いICTを導入した授業改革を推奨し、わかりやす授業を展開した。 ・スタディサプリEnglishを活用し、定期的に小テストを実践した。 ・宿題の提出率が8割ほどであるので、家庭学習を促し、全員が提出することができるようにすることが課題である。 	B (2.6)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットをただ使うのではなく、より効果的に理解を深められる授業となるように、効果的な授業展開を研究していく必要がある。 ・英語力向上のためGTECスコアアップを目指し、より英語力を高める指導を取り組んでいく。
生徒指導	「挨拶・身だしなみ」を徹底し、落ち着きある学校生活を送る。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体評価で概ね良好とはなったが、決して高い評価とはいえない。教員と生徒・保護者の間には生徒指導に対する意識の差があった。 ・生徒指導は生徒指導部だけでは成り立たなく、学校全体で教員全員でやらなければならないことである。特に「身だしなみ」「挨拶」に関しては、今年度の生徒指導部目標にも掲げていたことであり、指導の行い方に反省が残った。 	A (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も「挨拶」と「身だしなみ」を徹底していく。挨拶に関しては、人としてできて当たり前にしなければいけない。また、教員から挨拶をする学校にしていきたい。 ・身だしなみについては、全員が共通意識をもって平等に指導しなければいけない。 ・生徒指導部が率先してやることで、全教員で生徒の手本となる指導を実践していく。
進路指導	生徒一人ひとりの適正や希望を把握し、進路希望を実現させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路適性診断の結果から、進路学習会を実施した。自分に適した職業や学問から進路決定に向けての参考資料として活用した。また、教員研修を2回実施し、付属推薦に向けての理解を深めた。 ・生徒自身が進路目標を明確に定めることができるように、懇談の機会を有効に活用し進路希望調査を実施できた。また、保護者対象の東海大学見学会を湘南と静岡キャンパスで実施できた。 	A (3.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学年毎に進路目標を設定し、生徒1人ひとりが自身の進路選択と向き合える機会を持たせていく。 ・保護者を対象とした進路指導に関する情報提供の機会を計画していく。 ・教員研修を適宜実施し、進路指導の在り方について共通理解を図るように情報提供をしていく。
特別活動	コロナウイルスの規制緩和に伴い、以前の活動をもとに新たな活動を実践していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの規制緩和により、生徒会主催の学校行事を多く開催することができた。 ・建学祭は、初めての一般公開であったが、相対的に見て成功だったといえる。 	A (3.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一人ひとりが委員会に対して責任を持って取り組むことが、委員会活動の活性化につながり、生徒会活動も充実したものになる。 ・コロナによりこれまでの常識にとらわれない運営方法(リモート開催など)で学校行事を行ってきたが、多くの課題も見えてきたので、常に新しい実施方法を模索していきたい。
情報化推進	デジタル化を推進し、授業でのICT活用や広報活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの結果から、約8割の授業でICTを活用した授業を展開した。 ・毎日のホームページ更新を心がけ情報を発信した。最新の情報をよりスピーディーに発信していくことが課題である。 	A (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の情報格差を減らすようサポート体制を強化することで、さらにICTを活用した授業改革を行う。 ・ホームページだけではなくSNS等を利用した情報発信を検討し、積極的な広報活動を行う。